



土 浦 工 場

5

## 働く人たちとともに

昭和三十年から三十五・六年にかけて、内田産業は大きな会社に育っていきました。その当時世界最大といわれたギアポンプ、ブルドーザ・パワーシヨベル用ギアポンプなど、たくさんの製品を開発して収入も多くなりました。また今までの東京、名古屋の工場に加えて、土浦にも新しく工場が建てられました。働く人の数も数十人から数百人に増えました。

このような大きな会社の社長になった内田総は、どのような社長だったのでしょうか。

総は「社長というよりは一職工であった」と自分自身を誇りに思っていました。

社長になっても、いつもナツパ服（働く人が